

2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科	鍼灸美容学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	適応の判断		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	3年生		学期及び曜時限	後期	教室名	講義室
担 当 教 員	是石 芳宏	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
鍼灸理論、臨床医学、東洋医学臨床論をベースに鍼灸師として治療の適否についての知識を身につける						
《成績評価の方法と基準》						
期末試験						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
配布プリント						
《授業外における学習方法》						
プリントを読み返す						
《履修に当たっての留意点》						
鍼灸治療の適否を判断することは鍼灸師として非常に重要な要素です。国家試験学習とつなげながら臨床実践知識を身につけていきましょう。						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	鍼灸の治効理論の概要を説明できる	配布プリント	特になし	
		各コマにおける授業予定	鍼灸の治効理論①			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	鍼灸の治効理論を説明できる	配布プリント	前回の復習	
		各コマにおける授業予定	鍼灸の治効理論②			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	鍼灸の治効理論を説明できる	配布プリント	前回までの復習	
		各コマにおける授業予定	鍼灸の治効理論③			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	適応の判断の概要を説明できる	配布プリント	前回までの復習	
		各コマにおける授業予定	鍼灸治療における適否の要素①			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	適応の判断の要素を説明できる	配布プリント	前回までの復習	
		各コマにおける授業予定	鍼灸治療における適否の要素②			

授業の方法		内 容	使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標 適応の判断の要素を説明できる	配布プリント	前回までの復習
	各コマにおける授業予定	鍼灸治療における適否の要素③		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標 学習した注意すべき症状の鑑別点を説明できる	配布プリント	前回までの復習
	各コマにおける授業予定	適否の判断における注意すべき症状①		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標 学習した注意すべき症状の鑑別点を説明できる	配布プリント	前回までの復習
	各コマにおける授業予定	適否の判断における注意すべき症状②		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標 学習した注意すべき症状の鑑別点を説明できる	配布プリント	前回までの復習
	各コマにおける授業予定	適否の判断における注意すべき症状③		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標 学習した注意すべき症状の鑑別点を説明できる	配布プリント	前回までの復習
	各コマにおける授業予定	適否の判断における注意すべき症状④		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標 これまでの学習内容と国家試験問題を結び付けて説明できる	配布プリント	前回までの復習
	各コマにおける授業予定	国家試験問題における適応の判断①		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標 これまでの学習内容と国家試験問題を結び付けて説明できる	配布プリント	前回までの復習
	各コマにおける授業予定	国家試験問題における適応の判断②		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標 症例における適応の判断を説明できる	配布プリント	前回までの復習
	各コマにおける授業予定	症例練習①		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標 症例における適応の判断を説明できる	配布プリント	前回までの復習
	各コマにおける授業予定	症例練習②		
第15回	講義実習形式	授業を通じての到達目標 これまでの学習内容を説明できる	配布プリント	前回までの復習
	各コマにおける授業予定	まとめ		